

2011年4月1日

IMS運用証明書更新について

帝三製薬株式会社

当社はE S H活動（環境保全、安全、防災、衛生等に関する活動）の一環として、2003年度にISO14001、2004年度にOHSAS18001を取得し、運用をしてきました。さらに、医薬品製造業としての医薬品の製造管理および品質管理、すなわち、GMPをISO9001の観点から整理し、かつ、帝人グループのE S H、CSRを包括した活動によりIMS運用証明書を2005年度に取得しました。

2006年度は現場・管理職のIMS活動のレベルアップを図り、2007年度はこの成果を基に、IMS活動の進捗管理の『見える化：可視化』の実現、2008年度はOHSAS18001 2007版対応も含め、IMS運用証明書の更新を毎年更新して参りました。

2009年度以降も、IMS経営方針『品質とサービスの向上及び製造コストの低減』を達成するために、全員参加による継続的改善、特に現場力の向上により一層の飛躍を目指して活動して参ります。

なお、運用証明書更新の内容は下記のとおりです。

記

- (1) 証明書番号：JQA-IG0010-06
- (2) 発行日付：2011年3月18日
- (3) 登録機関：(財)日本品質保証機構（JQA）

以上